

事務事業名	十日市運営支援事業		所属部局	市民部		単位番号	4149												
			所属課室	若草窓口サービスセンター		課長名	小林嘉太郎												
			所属担当	窓口サービス担当		担当者名	清水 克弥												
基本政策	基本計画体系	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目									
政策		02 地域ネットワークの充実	事業区分	01	一般	0	2	0	1	1	2	0	2	0	1	3			
施策		03 地域コミュニティ活動への支援		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業														
				☐ 県の制度による義務的事業	☒ 補助金交付事業														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 昭和40 年度)		法令根拠	南アルプス市十日市祭典補助金交付要綱															
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)																		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 毎年2月10日・11日の三日間で開催されている。約400店の露店、木製品、生活用具が売られており、毎年約15万人の入出がある。			事業費の主な内訳 (22年度)															
				項目(細節)				金額(千円)				項目(細節)				金額(千円)			
				消耗品				4											
				その他役務費				114											
				その他委託料				250											
				リース料				147											
				その他補助金				459				計				974			

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	補助金交付、祭典準備のための会議開催、古用申請、看板・トイレ設置、駐車場整備、ごみ処理・警備等委託、交通規制
22年度活動実績	
23年度活動予定	補助金交付、祭典準備のための会議開催、古用申請、看板設置、駐車場整備、交通規制
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
① 木工品の嗜好者	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
① 自分の欲しいものを買いに来る。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
市外の人が本市に興味を持つ。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 打ち合わせ会議出席人数	人
イ: 看板設置枚数	枚
ウ: 駐車場利用台数	台
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 県民人口	人
イ: 市人口	人
ウ: 区人口	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 来訪者数	人
イ: 「歴史を理解した」と答えた参加者割合	%
ウ:	
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 観光に関する問い合わせ数	件
イ: 入込客数	人

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,051	974	1,000	1,000	1,000	1,000	
	人件費	事業費計 (A)	千円	1,051	974	1,000	1,000	1,000	1,000	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	
		人件費計 (B)	千円	89	89	79	79	79	79	0
		(A)+(B)	千円	1,140	1,063	1,079	1,079	1,079	1,079	0
活動指標	ア	人	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0		
	イ	枚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	ウ	台	2,352.0	1,356.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0		
対象指標	ア	人	868,667.0	858,976.0	865,000.0	865,000.0	865,000.0	865,000.0		
	イ	人	72,869.0	72,403.0	73,000.0	73,400.0	73,500.0	73,600.0		
	ウ	人	1,308.0	1,315.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0	1,350.0		
成果指標	ア	人	160,000.0	80,000.0	160,000.0	160,000.0	160,000.0	160,000.0		
	イ	%								
	ウ	%								
上位成果指標	ア	件								
	イ	人								

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	十日市がいつから始まったのかは不明。文化継承及び観光PRのため合併前の若草町時代から補助金を出している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	甲西バイパスの開通により会場が一部寸断された。そのため交通規制・交通整理・警備委託・信号規制業務等事務量が増えた。平成20年度より実行委員会形式に移行し、職員の事務は限定的なものとなった。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	地区住民からは違法駐車やゴミの苦情がよせられている。また露天商のためのお祭りになっており、地区にはメリットはないとの意見もある。その他小中学校より駐車場の整備に係る負担の大きさに対する意見もある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	職員がおこなっていた事務を実行委員会に移行させる形をとり、職員のかかわる業務を減らしてきた。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	十日市運営支援事業	所属部	市民部	所属課	若草窓口サービスセンター
-------	-----------	-----	-----	-----	--------------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 結びついていない ⇒ [理由 ↓] 市はもっと観光・特産品のPRの機会として活用すべき。しかし地区ではこの事業を市が主催で行うことを希望している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 地域の伝統的な催しに対し、補助金を交付することはよいと思う反面、一地区の行事に税金を補助金として交付するのは公平性という点からは疑問に思われる。地区でも補助金で行う事業として望んでいない。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 無形文化財として残していくべきものである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 露店だけではなく市の特産品の販売スペースを設けるなど、もっとPRをする行事として活用できると思われる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☒ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] 開催時期は違うが、夏のサマーフェスティバルは若草地区の催しという点が同じである。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 伝統のあるお祭りがなくなることによって、南アルプス市を訪れる機会・文化に触れ合う機会がなくなる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓] 補助金がなくなった場合、祭典の実施はとても厳しいものとなる。露天商からの出店料など負担金を取るだけでは難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 露天商など出店者から出店料を徴収すれば運営費増となる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 実行委員会が既に主体をもって運営しており、23年度より予算計上も従来の援助費を補助金に踏めて一本化にまとめる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 来訪者に対し、積極的に市をPRするよい機会として利用する。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	運営については、地元実行委員会が主体になり進めていただいております。また、今年度の予算計上については、職員の減少と併せて地元さらに主体性をもった事業にさせていただくために、従来計上していた補助金以外の援助費を補助金に含め一本化をし軽減を図りました。なお、今後も県内外に知れ渡る伝統あるイベントであるので継承していきたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☒ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☒	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
① 露天商以外の出店、特産品等の販売。 ② 伝統、観光のPRの機会として市全体でかかわる。 ③ お祭りの規模を縮小し、補助金の額を減額する。																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
① 駐車場のあり方。 ② 周辺住民の日常生活への影響。 ③		成果優先度評価結果	⑫																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					